

〈ホームステイについて〉

私のホストファミリーは、フィリピン人の夫婦でした。家に着いたときから温かく迎えてくれ、何もかも優しく教えてくれる方たちです。よく北海道からの留学生を受入れているようで、たくさんお話をしてくれて、人見知りの私を安心させてくれました。

フィリピン人ということもあり家での食事はアジア料理だったので、アメリカでお米が食べられるのが個人的にうれしかったです。ホストマザーの趣味が cooking と始めに頂いた書類に書いてありましたが、本当に美味しかったです。「お腹が空いたら好きなときに食べなさい。もっと太りなさい。」「シャワーも浴びたいときに浴びなさい。」ととても自由に過ごさせてくれました。学校へもお昼ご飯を持たせてくださり、とても優しいホストファミリーに出会えて幸せでした。

ただ、少し英語に訛りがあって聞き取るのが難しいなという印象はありましたが聞き返したりして理解できるまで丁寧に教えていただきました。

英語に自信がなかった私は「英語を話すのは苦手です。」と前もって初日に伝えましたが「ここで学べばいいのよ」とポジティブな言葉をかけてくださり、心配だらけな留学に少しでも自信をつけさせてくださいました。



お部屋の様子

〈学校生活について〉

まず、始めに学校を見たときの印象は「広い！大きい！映画に出てきそう！」という感じでした。オリエンテーションの前日にホストファザーが車で学校まで連れて行ってくさいましたが、とても広いキャンパスを見て声が出なかったことが印象に残っています。

大学へはバスで通うことになりましたが、バス停まではホストファザーが毎日送ってくださり、バス1本で通うことが出来たのでとても安心でした。

私のクラスには台湾人や中国人の方もいて、クラスメイトとコミュニケーションを積極的に取るような授業だったので自然に英語を話す機会が多く設けられていました。日本人も全国各地から集まっていたので、たくさん話をして良い刺激になりました。クラスの難易度は最初のプレイスメントテストによって能力別に大学が分けてくださるので、私自身とてもちょうど良いなと感じました。毎週火曜と木曜には、午後のアクティビティがあります。ダウンタウンに行ったりミュージアムに行ったりシアトルの色々な名所をまわることが出来るので、私は是非全部参加することをおすすめします。また、そこでも新たに友達作りが出来るので参加して良かったです。



スペースニードル

大学のキャンパス

〈休みの日〉

休みの日や、午後のアクティビティがない日が仲良くなった友達とシアトルを思う存分観光しました。毎日どこかには必ず出かけ、シアトルの魅力にたくさん気づくことが出来ました。私のお気に入りの観光名所はスペースニードルです。シアトルを上から一望できて、景色がとてもきれいなのでまたシアトルに行く機会があればもう一度スペースニードルに行きたいと思います。

あとは、用事がなくてもほぼ毎日ダウンタウンに行っていました。日本にもあるお店がたくさんありますが、日本よりも安く売っていたりショッピングをたくさん楽しんだのが思い出です。

また、ダウンタウンには映画館もあり友達と映画を観たのも思い出です。普段の日常会話で英語を聞く機会以外に映画を通して英語に触れるのも良いなと感じました。この経験からもう日本には帰ってきましたが、吹き替えではなく字幕で洋面を見るようになりました。

〈まとめ〉

今回の短期留学は、英語の語学留学ということでしたが周りの同じプログラム参加者は日本人ばかりです。英語を使うかどうかは自分の行動次第なので、私はホストファミリーや買い物に出かけるときなど出来るだけ英語を使うように努力しました。結果として、3週間の間で力がついたなど実感できるのはリスニング力です。現地のネイティブな英語を聞くことはとても良い経験になると思うのでこのプログラムは色んな人にお勧めしたいなと思いました。

今後アメリカ留学に参加する人にお勧めしたいのはポケット Wi-Fi を持って行くことです。ホームステイ先に Wi-Fi がない子も周りにいたので持って行くことをおすすめします。